

令和 3 年 7 月 5 日

ほんじつ ほん 本日のおすすめの本(61)

横浜市立本牧南小学校
学校司書 青木美佳



がっこうとしょかん ごうがい
～学校図書館だより号外～

『みずをくむ プリンセス』

スーザン・バーテ 作 2020年初版 さ・え・ら書房

みずがなくておもうかべてください。のどがかわいても水を飲むことができなかつたり、てをあらったり、うがいをしたりすることができない生活をかんがえてみたことがありますか？

わたしたちがすむにほんでは、じゃくをひねれば、みずがでできます。それものめるみずです。こうえんにいても、みずを飲むことができます。

でも、せかいは、じぶんちかみずがないせいかつひとのおおぜんせかいでみると、にんひとり、きれいなみずを手にするのができません。

わたしたちにんげんにとって、みずはぜったいひつようなものです。みずさえあれば、なんにちい生きのびることもできます。ところが、この本の主人公のすむちいきでは、ちいおんなこがぞくかぞくてつだいがっこうへもいけず、生きるためになんきろも離れた場所までのめるみずをくみにいかなければなりません。でも、そのみずも決してわたしたちのくに安全でせいじくなみずではないのです。

いま、わたしたちほんもくみなみしょうがっこうのみなさんがせつぎよくてきべんきようしているSDGs(持続可能な開発目標)の中にも、「6:安全なみずとトイレをせかいに」というものがあります。

にんげんがいていくためにどれほどみずひつようなものであるか、そして、それをかんたんにはてに入れることができない人々がどれほど多くいるか・・・自分のせいかつと主人公のせいかつをくらべながら、ほんよを読んでみましょう。



ほん
この本は、
こんねんと なつ
今年度の夏の
かだいとしょ
課題図書です。